

2011 年度日本神経回路学会 総会 議事録

日時：2011 年 12 月 16 日（金） 15:10～15:50

場所：沖縄科学技術大学院大学 講義室 B205 （沖縄県恩納村）

< 議題・報告 >

議題に先立ち、司会進行の酒井理事から、正会員 493 名のうち 5 分の 1 以上の出席（当日出席者約 40 名、委任状提出者 102 名）があり、総会は正式に成立したと報告された。

1. 会長挨拶

大西会長より、年次報告として学会の概要（会員数、主催行事、学会誌、各種若手支援、助成、協賛学会について）の説明があった。

2. 会計報告・会計監査報告

小池財務・会計理事より、2010 年度決算報告があり、承認された。収入の部では Neuro2010 事務管理費収入として約 100 万円の収入があり、合計は約 1430 万円であった。また支出の部は約 1560 万円であり、約 130 万円の赤字であったという説明がされた。

次に田中監事より、2010 年度の会計は適正に処理されたという会計監査報告があり、承認された。

3. 予算説明

小池財務・会計理事より、2011 年度予算案が説明され、承認された。収入の部では円高の影響で、エルゼビア社からの編集費が減少となるが、支出の部で Neural Networks 誌購読費も減額になるため、最終的には 200 万円程度の赤字で運営される見込みであるという説明があった。

4. 事業報告

1) 池田和文誌編集長より、学会誌は順調に出版されているという報告があった。

2) 銅谷英文誌編集委員長より、Neural Networks 誌は INNS 選出の編集長が Dr. Dr. DeLiang Wang に交代したため、今後は編集内容が刷新され質の高い内容となり、また迅速な編集が見込まれるという報告があった。

3) 佐藤電子化担当理事より、和文誌は創刊号から全号が J-Stage で閲覧ができるようになり、またメディカルオンラインで閲覧した場合には購読料の一部が学会の収入となるという報告があった。

4) 山内理事より、2011年度の時限研究会支援の報告があった。今年度は1件の応募のうち、1件が採択され、東北大学で開催された「神経科学・リハビリテーション・ロボット工学のシナジー効果に関する研究会」に講師謝金などとして約27万円の支援をしたという説明があった。また2012年度時限研究会応募は2011年12月22日に締め切られるので、会員からの応募を募った。

5) 酒井理事より、2011年度のNC研究会支援の報告があった。JNNSではNC研究会の特別講演に対し講師謝礼金を支援しているが、今年度は7件の支援をしたとの説明があった。

5. 若手支援報告

1) 森江若手スクール支援統括理事より、JNNSでは3つの若手スクールに支援をしているとの報告があった。3月に京都で開催されたスプリングスクール2011では会場費として約30万円の支援をした。次に、銅谷特任理事より6月に沖縄で開催されたOCNC2011ではJNNS学生会員に対して旅費として約7万円の補助があったと報告された。続いてASOCNE世話人の鮫島和行氏より、ASCONE2011では学生の合宿費用やチューターの旅費など約120万円の支援を受けているとの報告があった。ASCONEではグループに分けて演習を行い、合宿により交流を深めた。なおASCONE2011に参加した学生のうち、6名がJNNSに入会したとの報告があった。

2) 酒井理事より、2011年8月に神戸国際会議場で開催された「脳と心のメカニズム」第12回夏のワークショップ参加助成の報告があった。応募者4名に対し、選抜の結果、3名の参加学生に交通費・宿泊費の援助を行い、約11万円の補助金を支給した旨、説明された。また2012年1月にルスツで開催予定の第12回冬のワークショップ参加助成には6名の応募者があり、5名に約30万円の交通費・宿泊費を支給する予定とのことである。

3) 山内総務理事より、2011年度国際会議英文論文支援としてNIPS2011(スペイン)およびJNNS2011(OIST)を対象としそれぞれ先着順で募集を行い、合計7名の若手研究者に英文添削の支援を行ったという報告があった。

6. 国際化の推進

酒井国際担当理事より、APNNAの学会化を検討中であること、およびICONIP2012は2012年11月26日～29日にカタールで開催されるという報告があった。

7. 全国大会

1) 銅谷特任理事(第21回日本神経回路学会全国大会実行委員長)より、現在開催中のJNNS2011には110件の論文投稿があり、参加者は約170名(うち学生は約60名)であるという報告があった。また今大会は海外からの参加者に対してOISTから旅費の

サポートをしているという報告があった。

2) 岩田理事(第22回日本神経回路学会大会長)より、2012年度全国大会は名古屋工業大学において日本知能情報ファジィ学会と合同開催の予定で、2012年9月12日から14日にかけて開催予定であるという報告があった。大会テーマは「脳と知の融合をめざして」であり、投稿締切は2012年5月31日であるという説明があった。

3) 五味理事(第23回日本神経回路学会大会長)より2013年度全国大会は3学会(日本神経科学学会、日本神経化学会)との合同大会で「Neuro2013」として2012年6月20日～23日に京都国際会館で開催予定であるという報告があった。

9. 選奨委員会報告

五味選奨理事より、今年度は論文賞候補12編、優秀研究賞候補14編のうち、厳正な審査の結果、論文賞2編、最優秀研究賞1編、優秀研究賞2編を選出した旨の説明があった。

<授賞式>

大西会長から論文賞および優秀研究賞に賞状が授与された。その後、受賞者を代表して最優秀研究賞の西田知史さんから受賞の喜びの言葉があった。

10. 最後に出席者からの意見を求めたが、特に意見はなかったため、これにて平成23年度日本神経回路学会総会は閉会した。

以上